

HIV感染症・エイズ予防の取り組み

公益財団法人エイズ予防財団 事業部 事業第一課 堀内 由紀

「HIV検査促進」CMがスタート

ACジャパンの支援を受け、今夏から新しい「HIV検査促進」広告が始まりました。来年6月までテレビ、ラジオ、映画館でのCM、新聞・雑誌広告に加え、首都圏及び名古屋地区の交通広告に掲出されます。テレビCMでは、「わたしに限って、まさか。」「たぶん、大丈夫。」「平気だよ、きっと。」「ありえないよ。」と4人の若者がそれぞれ心の声を発します。次の瞬間「本当に?」「HIV感染。判断できるのは、検査だけ。」というメッセージが画面いっぱいに広がります。陽性判明時の様々なサポートを伝えながら、ラスト画像は、多様な男女10名で「あしたのためにまず検査をうけてください。」と締めくくります。検査を受けて初めて、HIVに感染しているかいないかがわかる、ということを直接的に伝えています。

支援広告の詳細はエイズ予防情報ネット (API-Net) からご覧になれます。

http://api-net.jfap.or.jp/lot/2011_ACjapan_CM.html

平成23年度「世界エイズデー」 キャンペーンテーマ決定

エイズとわたし ～支えることと 防ぐこと～

12月1日は「世界エイズデー」です。厚生労働省、エイズ予防財団は毎年「世界エイズデー」に向けてキャ

ンペーンテーマを策定し、様々なキャンペーン活動を展開しています。

日本国内でHIVに感染している人はエイズ動向委員会の報告ベースでも年間1,500人前後に達しています。累積報告数から判断すれば、少なくとも2万人を超えるHIV陽性者がすでに、会社などで働き、学校で勉強し、映画を見に行ったり、ときにはバーで飲んで帰ったりしている現実があります。その中でもう一度、「エイズとわたし」の関係を考えてみたい。だれが何を支え、何を防ごうとしているのか。どこかでエイズの流行と触れあっている「わたし」。すれ違ったかもしれない「わたし」。いろいろな人たちの「エイズとわたし」を聴いてみたい。そして、語りたい。そんな思いが「エイズとわたし ～支えることと 防ぐこと～」には込められています。

エイズ予防財団は公益財団法人へ移行しました

平成23年4月1日、エイズ予防財団は公益財団法人へ移行しました。HIV感染症・エイズに関して、公益財団法人の名にふさわしい事業を実施し、国民の健康福祉の向上に寄与してまいりたいと考えております。皆様方には、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



交通広告のポスター